



## 山国神社例祭・還幸祭 山国さきがけフェスタ



10月14日曜日、山国神社のお祭りで神輿を担がせていただきました。実のところ、これまで僕には「地元」と呼べるような地域がありませんでした。ですので、お祭りで神輿を担ぐ、というのは、この京北が初めてでした。

途中休憩で、用意されたお酒や食べ物に「呼ばれて」（←京北に来て覚えた言葉です）皆さんと喋っていると、担いでいた時に感じていたはずの疲れは不思議と忘れていました。夕暮れ時に神輿ごしに見えた月がとてもきれいで、これが「秋」だと思いました。

午前中は、中江のブースで合鴨の串焼きを焼かせてもらっていました。

翌日からしばらくは「肩叩いてええか」「あかに決まってるでしょ！」がお決まりのやり取りに...笑



## 西の鯖街道 × イオンモール

10月13日、イオンモール京都桂川店「川の広場」で、西の鯖街道協議会に加盟する皆さんと、ご当地の特産品を出店してきました。

京北からは、鯖や福神漬、納豆餅などが出品されました。中でも「納豆餅」を珍しがられる方がたくさんいました。また「納豆餅あられ」は、納豆が苦手な方にもおいしく感じていただいたようで、一部の方に大人気でした。



## 秋の味覚!

この秋は、立派な栗をいただいたり、自分でサツマイモを買ってきて吹かしてみたり、おいしいものに囲まれて過ごしてきました。街にいた時は、こうした季節の感じ方をしてこなかったので、毎日わくわくしております。



## 今月の1冊

吉見俊哉『大学とは何か』岩波書店2011年

大学って何やねん？これから大学に進む可能性のある中高生の皆さんは、きっと一度はそう思ったことがあるのではないのでしょうか。大学は、それまでの学校での勉強とはちょっと違います。「宇宙はどうしてできたのか」「何が本当の自由なのか」「どうすればがんは治るのか」「一番使いやすいペンのデザインは何か」.....などなど、数えきれないくらいのテーマについて、いま分かっている知識を総動員して解き明かそうとしている、大学とはそんな不思議な場所です。

では、どうして大学はそんなことをしているのでしょうか。この本では、僕たちにとって大学が何の意味があるのかについて、歴史の話を交えながら書かれています。大学の役割は時代によって変わります（変わらないものもあります）。その昔大学生だった大人の皆さんが読んでみても、とても面白いと思います。

※ここで紹介する本は、すべてお貸しすることが出来ます。お気軽に声をかけてください!